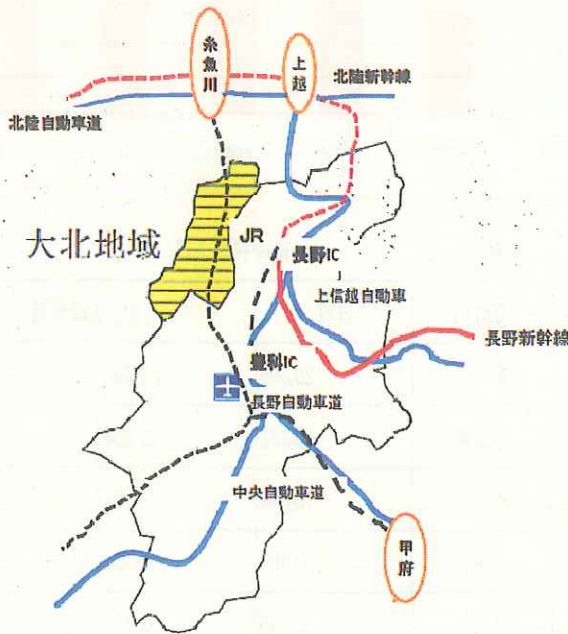


# 大北地域の概況

資料1

## 1 地勢等

- ◇ 大北地域は、県の北西部に位置し、西に中部山岳国立公園の急峻な北アルプス連峰が連なり、中央部を高瀬川と姫川がそれぞれ南北に流れている
- ◇ 東西に24km、南北に59km、総面積は1,109.5km<sup>2</sup>(県土の8.2%)
- ◇ 行政区域は、大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村の1市1町3村で構成



○交通拠点までの距離と時間

◆高速道路

路線	距離(km)	時間(分)
長野自動車道 (大町市役所～豊科IC)	27.5	35
上信越自動車道 (大町市役所～長野IC)	49.9	65
北陸自動車道 (大町市役所～糸魚川IC)	68.4	90

◆飛行場

大町市役所～松本空港 (一部高速道路使用)	距離(km)	時間(分)
	47.6	50

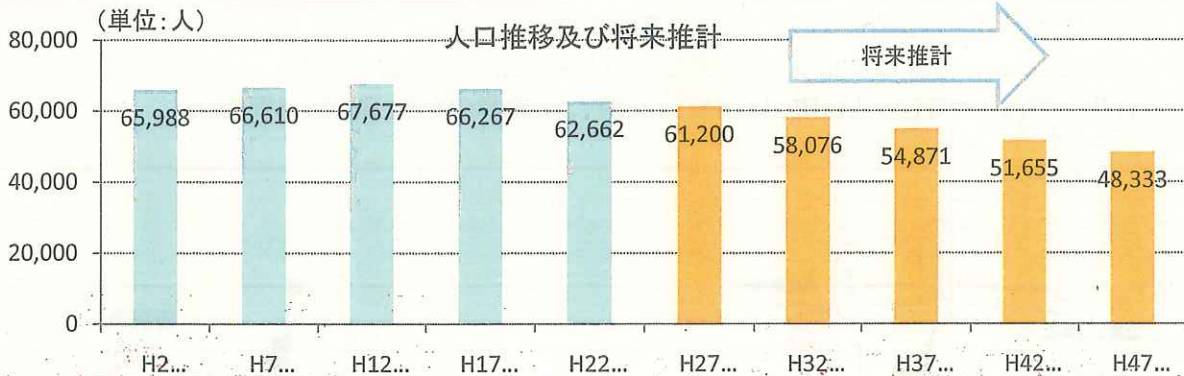
◆長野新幹線

大町市役所～長野駅	距離(km)	時間(分)
	46.0	60

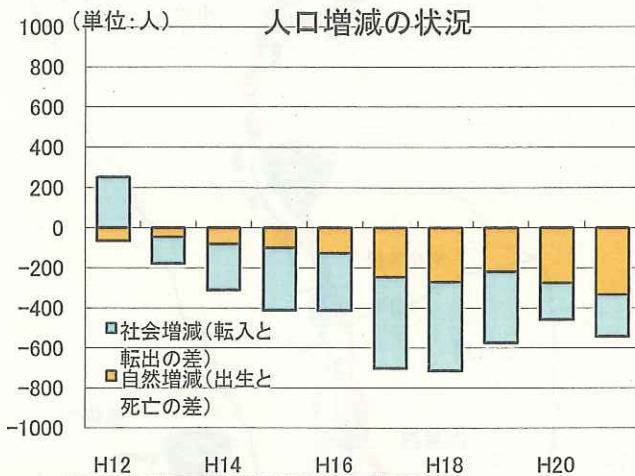


## 2 人口等

- ◇ 大北地域の人口は62,662人で、平成12年の67,677人をピークに減少
- ◇ 平成13年以降は、自然減と社会減が同時に進む
- ◇ 将来的にも人口減少が続き、8年後には6万人を、23年後には5万人を割ることが見込み



資料: ~H22国勢調査、H27~日本の市区町村別将来推計人口



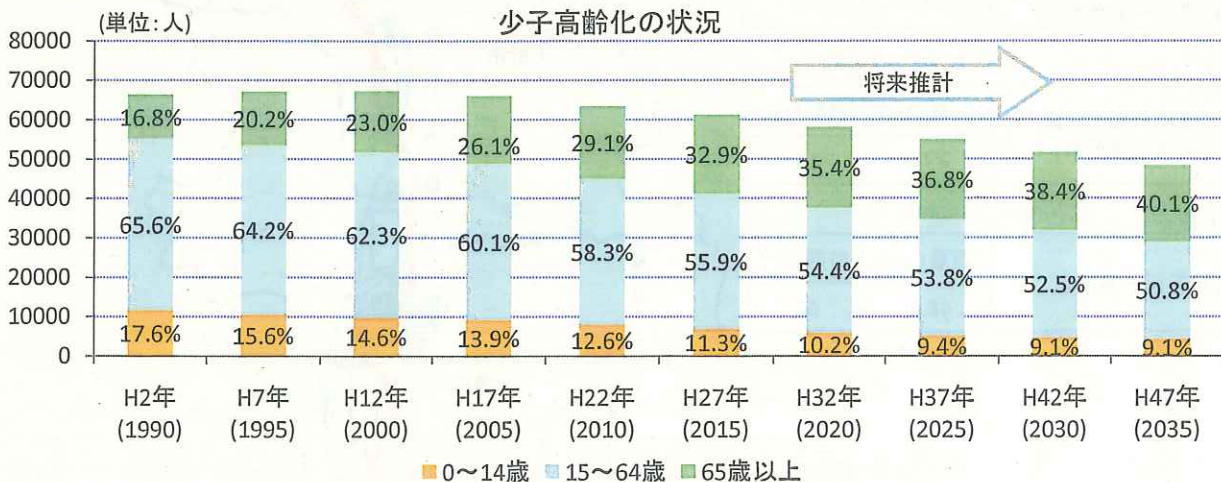
資料: 毎月人口異動調査(情報統計)

(単位:人) 市町村別人口

市町村	H22	H17との増減	
大町市	29,805	△ 2,340	-7.3%
池田町	10,332	△ 298	-2.8%
松川村	10,093	21	0.2%
白馬村	9,207	△ 293	-3.1%
小谷村	3,225	△ 695	-17.7%
合計	62,662	△ 3,605	-5.4%

資料: 国勢調査

- ◇ 大北地域の高齢化率は29.1%(H22.10)で、県平均を2.6ポイント上回る
- ◇ 今後も、急速に高齢化が進み、23年後には人口の約4割が65歳以上の高齢者となる見込み



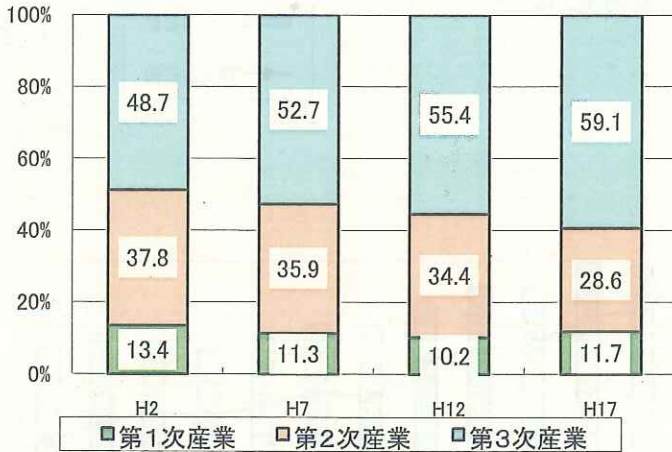
資料: ~H22毎月人口異動調査、H27~日本の市区町村別将来推計人口(H20.12国立社会保障人口問題研究所推計)

### 3 産業

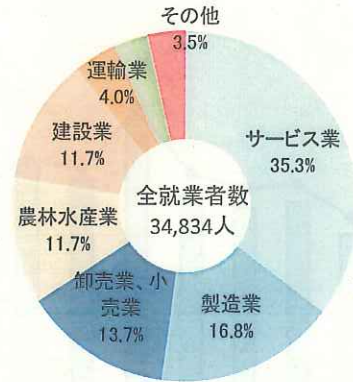
#### □ 就業構造の状況

- ◇ 管内の産業別就業人口は、第2次産業就業者の割合が減少し、第3次産業就業者が増加
- ◇ 業種別の就業者構成では、県全体に比べてサービス業の割合が高く、製造業の割合が低い

就業人口割合の推移



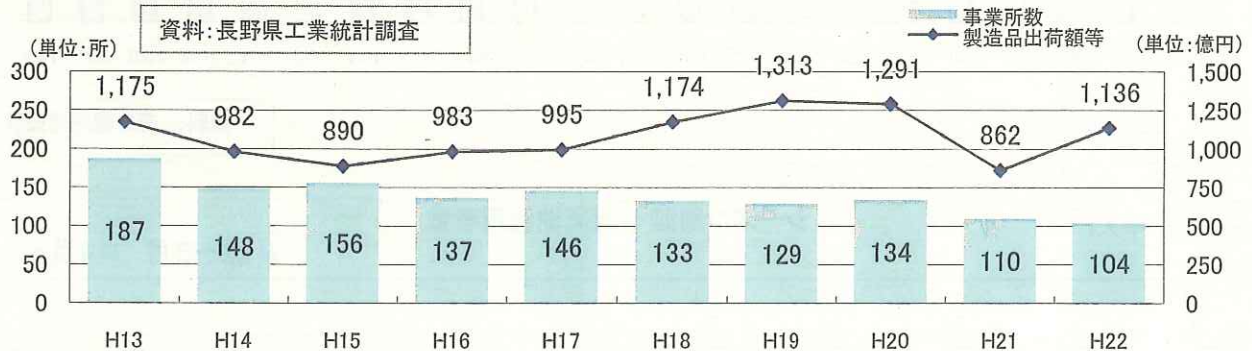
就業者の業種別構成



資料：平成17年国勢調査

#### □ 事業所数、製造品出荷額の状況

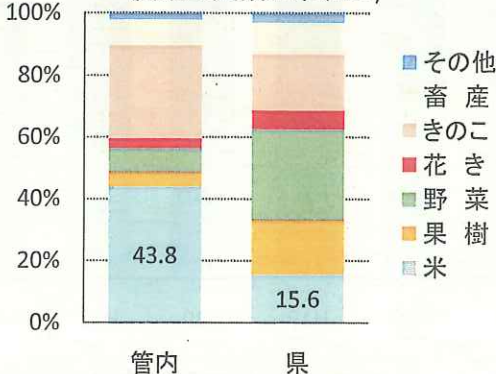
- ◇ 製造品出荷額は平成15～19年にかけて回復傾向。世界同時不況の影響で平成21年は急激に落ちこんだが、22年は回復傾向
- ◇ 企業の製造拠点の集中化や海外移転などの影響もあり、管内の事業所数は減少



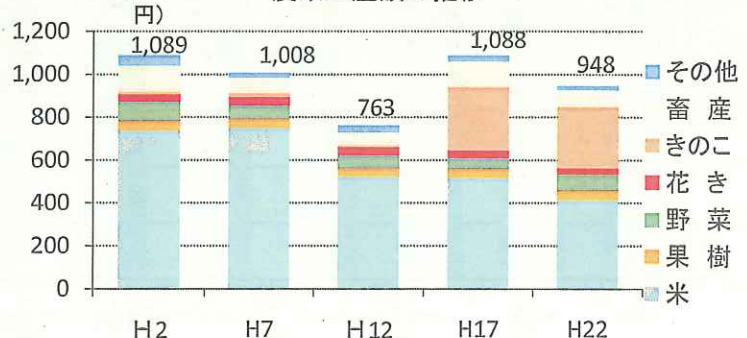
#### □ 農業生産額の状況

- ◇ 農業生産額は水稲が44%を占める。県全体の構成比と比べると、果樹・野菜の比率が低く、水田農業に特化した構造

農業生産額比率(H22)



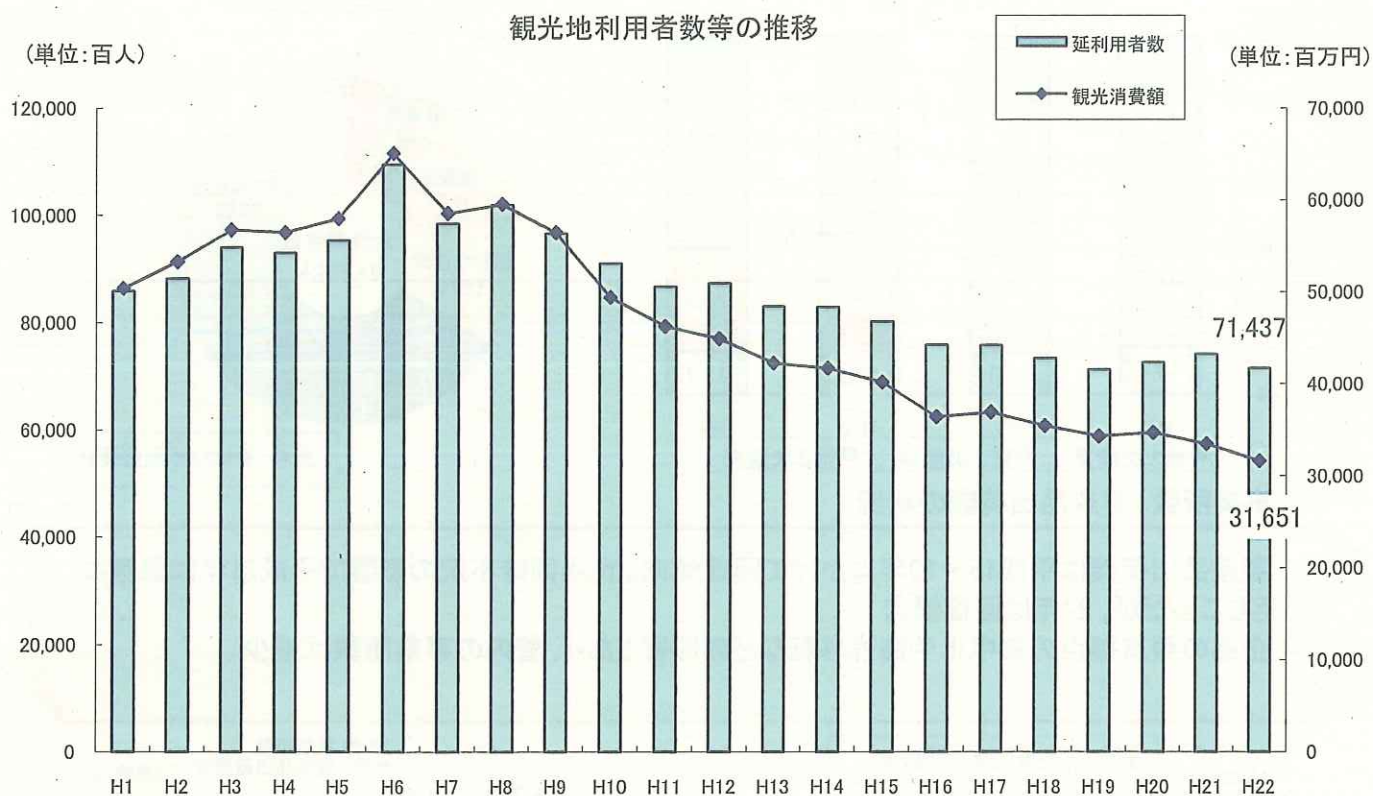
農業生産額の推移 (単位:千万円)



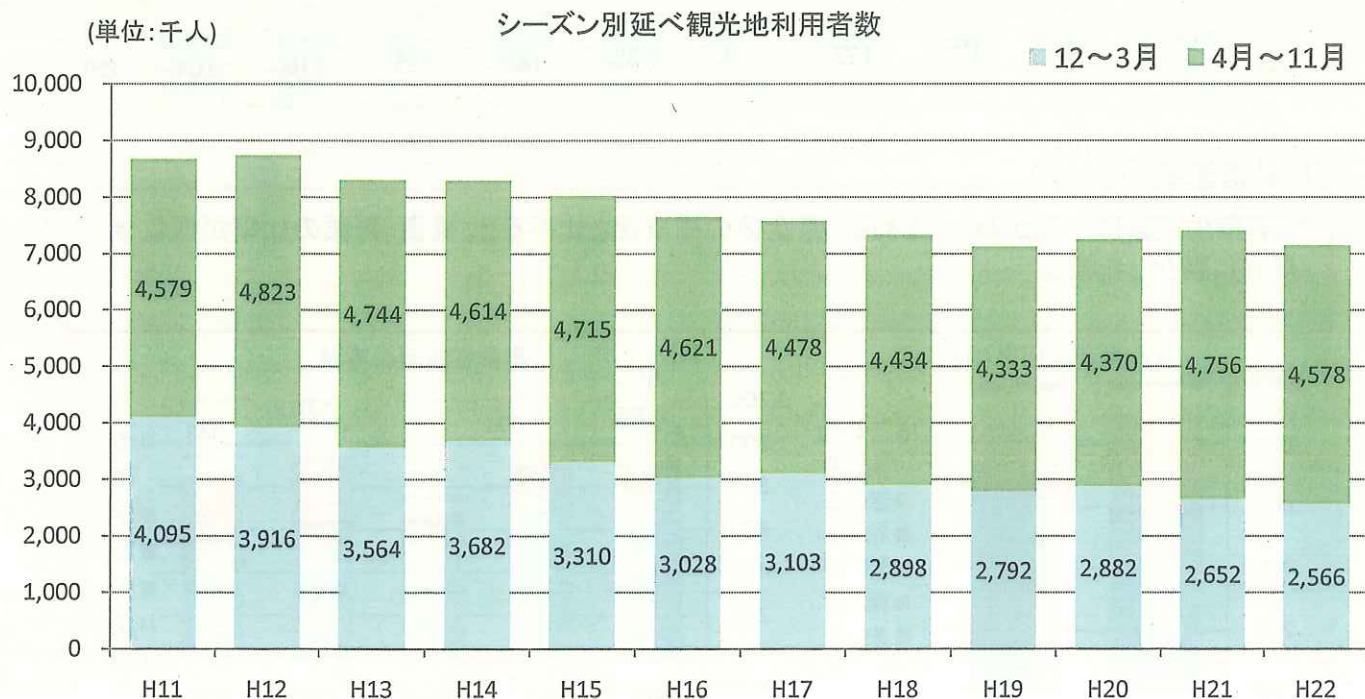
～H17 農業産出額(農政事務所)  
H22～ 農業生産額(地方事務所推計)

□ 観光客数、観光消費額の状況

- ◇ 平成22年の観光客数は714万人で、ピーク時の平成6年と比べて2/3程度の水準
- ◇ 観光消費額も317億円と、ピークの平成6年の5割程度の水準、減少傾向が続く
- ◇ シーズン別の利用者数は冬期(12月～3月)の利用者数は減少傾向、その他の期間については横ばい



資料: 商工観光建築課

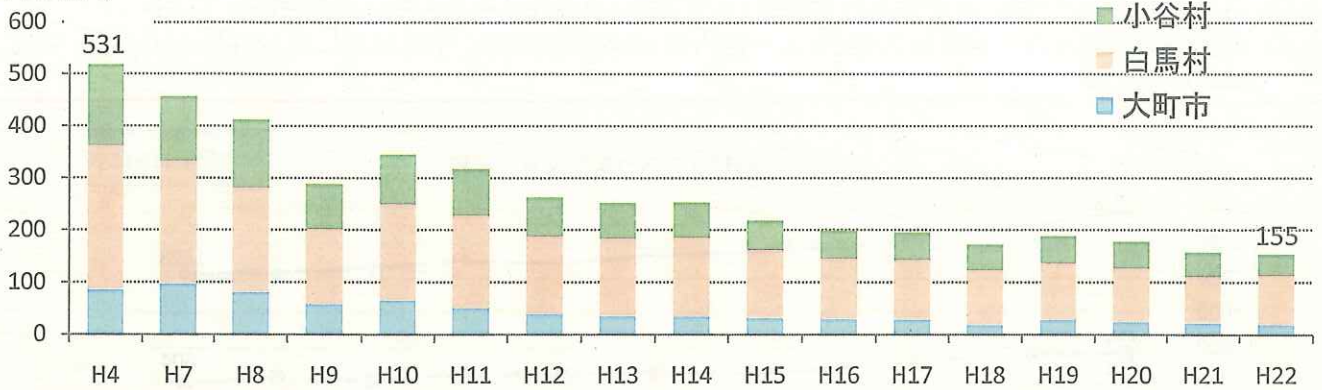


資料: 観光地利用者統計調査

□ スキー場利用者数の状況

- ◇ 管内スキー場は13か所で全県の14%、リフト基数は24%を占め、県を代表する大規模なスキー場が多い
- ◇ スキー客数は、近年はピークの平成4年の1/3程度の水準

(単位:万人)



資料: 商工観光建築課

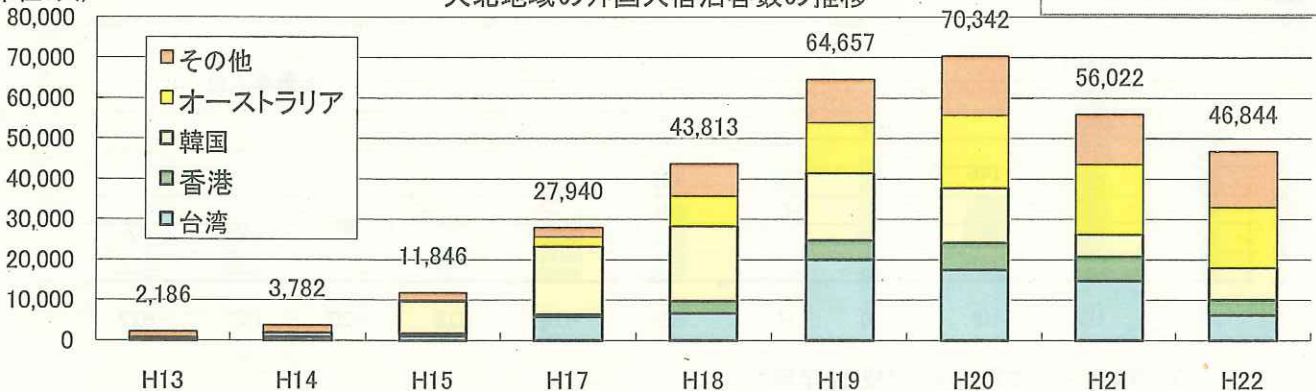
□ 外国人観光客の状況

- ◇ 外国人宿泊客数は、平成20年まで順調に増加してきたが、世界的な景気低迷により減少。今後も、原子力発電所事故の影響の長期化が懸念材料

(単位:人)

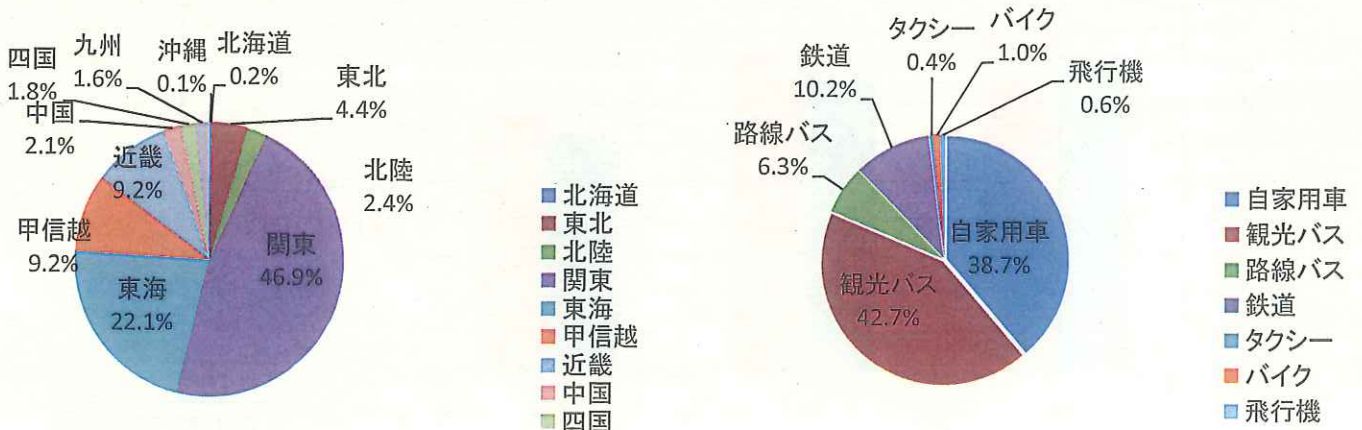
大北地域の外国人宿泊客数の推移

資料: 商工観光建築課



□ 「立山黒部アルペンルート」を訪れた観光客の状況

- ◇ 「立山黒部アルペンルート」を訪れた観光客へのアンケート調査(H23.6月~10月に大町市が実施)によると、関東地域からの観光客が約半数を占め、次いで東海地域が2割。また、使用した交通手段(複数回答)は、1位 観光バス 42.7% 2位 自家用車 38.7% 3位 鉄道 10.2%の順

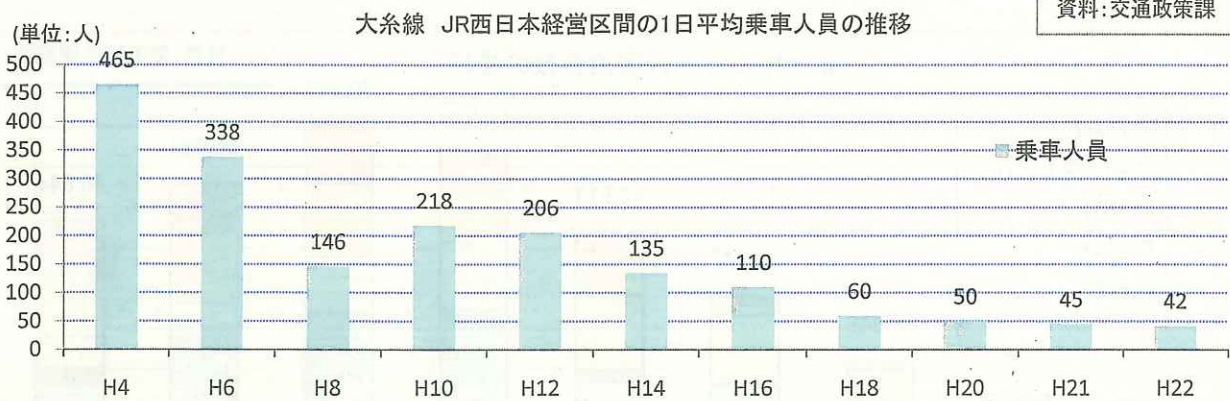
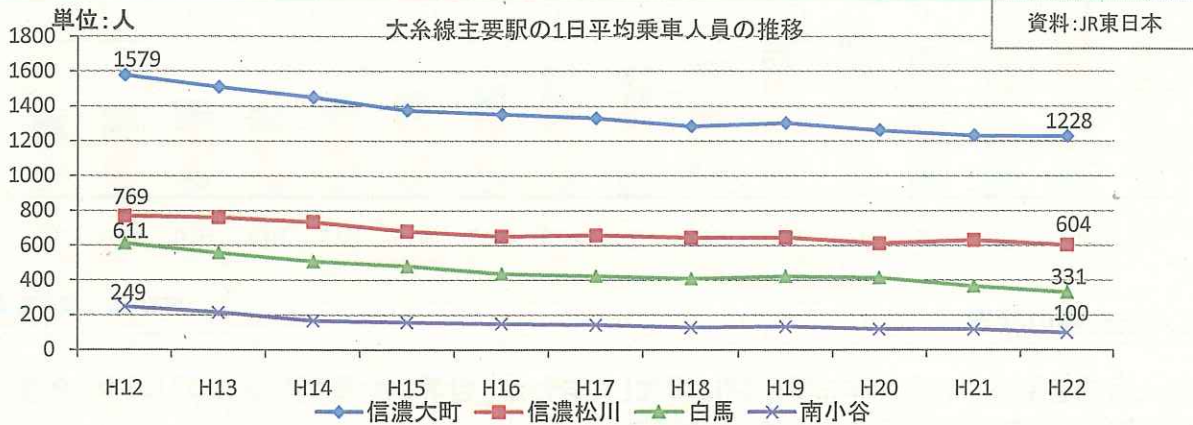


資料: 大町市産業観光部観光課

## 4 地域の交通の状況

### □ 大系線の状況

- ◇ 大北地域のJR大系線(JR東日本経営区間)主要駅の1日当たり乗車人員は減少を続けている
- ◇ 南小谷以北のJR西日本経営区間(中土～姫川間)の利用者数は、平成22年には1日当たり42人と、平成4年の1/10



○1日あたりの乗車人員(平成22年度)

駅名	姫川	頸城大野	根知	小滝	平岩	北小谷	中土	合計
乗車人員	4	16	8	2	7	3	2	42

### □ 148号線及び147号線の交通量の状況

- ◇ 地域の主要国道である148号線及び147号線の交通量は、いずれも減少傾向

